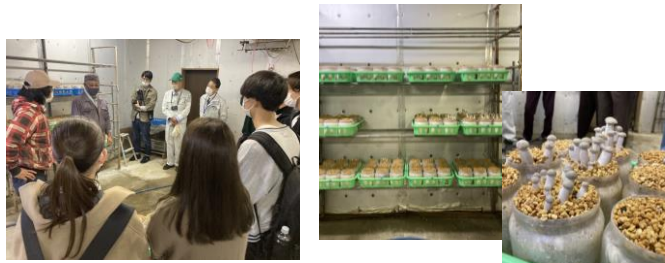


# 森林自己学習 活動内容

## 福島大学食農Cafeサークル

### 活動① キノコ栽培見学調査



新型コロナウイルスの影響で、活動開始が11月と遅くなってしまったのですが、キノコ栽培見学から森林自己学習の活動が始まりました。実際にキノコ栽培の現場を見るのは初めてで、農家の方の話も聞くことができ、とても貴重な体験になりました。

### 活動② キノコ炊き込みご飯試作・提供

見学に行ったことでよりキノコを多くの人に美味しく味わってほしいと思い、自分たちでキノコの炊き込みご飯を作り、それを食べてもらおうと考えました。いろんな種類の炊き込みご飯の試作を重ねて、最終的には福島県の様々な食材を入れた炊き込みご飯を作りました。お米は飯館村で作られた「里山のつぶ」という品種を使い、他にも干しシイタケや実際に見学に行かせていただいた農家の方が作っているヒラタケなどを使用しました。

この炊き込みご飯は、福島大学の学生が主催して行われた「農場フェスタ」や、JAグループとの交流会で提供し、多くの人に食べてもらうことができました。また、農場フェスタでは「福笑い」という品種のお米を使い、ヒラタケのしぐれ煮を具材にしたおにぎりも提供しました。

多くの人から好評の声をいただき、キノコのおいしさが多くの人に伝わったと思いました。



### 活動③ キノコと芋煮会



炊き込みご飯だけではなく、他の料理でもキノコを美味しく食べられないか考え、サークル内で芋煮会を実施しました。芋煮と同時に福島県産のキノコを使って、なめこ汁を作ったり、シイタケの丸焼きを食べたり、多くの品種のキノコを味わうことができました。

### 活動④ 林産物使用のお弁当試作・販売(予定)

森林自己学習のまとめとして、林産物を使用したお弁当販売を計画しています。食材はもちろんのこと、割り箸に福島県の間伐材を使用したものを使ったり、福島県の森林に関心が向くようなお弁当を作ることができれば良いと考えています。

現時点で、1月にメニュー決定・試作、2月に販売を計画しています。

サークル員一同協力し合い、より多くの人に福島県の森林に関心が向くようなお弁当を作れるよう頑張りたいと思います。